

(2013 年度) 第 2 回応用地形判読士資格検定試験 二次試験問題

[午前の部]

実技試験の注意事項

- (1) 実技試験の実施日時は、2013 年 11 月 30 日（土）の 10 時 0 分から 15 時 0 分までとする。
 - ・午前の部：10 時 0 分から 12 時 0 分までの 2 時間.
 - ・午後の部：13 時 0 分から 15 時 0 分までの 2 時間.
- (2) 試験開始後 1 時間は、退場を認めない。
- (3) 解答は、図示を求める問題に対しては [地形図] (地形判読記号などを記入する [記号凡例用紙] を含む) に、記述を求める問題に対しては [マス目入り答案用紙] に、それぞれ記入すること。

地形図 (記号凡例用紙 を含む) および マス目入り答案用紙 には、受験番号 を必ず記入すること。
- (4) 指定した読図範囲について、問題にしたがい読図すること。実体視できる範囲については、読図に加え空中写真判読を行うこと。

これらの結果は、その地形図に図示すること。図示するにあたり、地形種の輪郭は明確に記入すること。ただし、地形種は、地形判読記号、色、模様などにより判別できる程度としてもよい。
- (5) 地形図に記入する地形判読記号、色、模様などは、特に定めない。ただし、使用した地形判読記号などは、別に配布してある [記号凡例用紙] に記入すること。
- (6) 試験の開始にあたり、印刷の不鮮明な点がないことを確認すること。
- (7) 試験開始後は、参考書籍のほか、携帯電話など電子機器類の使用は一切禁じる。また、携帯電話など音を発生させる機器類は、必ず電源を切ること。
- (8) この注意事項の説明後は、原則として質問に応じない。
- (9) 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってもよい。

ただし、①地形図 (記号凡例用紙を含む)、②マス目入り答案用紙、③空中写真は、机の上に残すこと。

◇ 地形図と記号凡例用紙および答案用紙には、受験番号を必ず記入すること。

《問題》

1. 地形図に太線で指定する範囲（旧畑野町の範囲は除く）について、地形図と空中写真により地形判読・地形分類（変動地形を含む）を行ない、その結果を地形図上に図示しなさい。

地形分類記号などは任意に設定して、別紙の〔記号凡例用紙〕に記入しなさい。

2. この地域の地形発達史および地形・地盤条件を考慮して、図示した範囲で発生しやすい自然災害（津波・雪害を除く）について考察し、マス目入り答案用紙に800字を超えないように記述しなさい。

必要に応じ、地形図中の参照する地点・地域に、記号、番号などを付してもよい。

<参考>

地形図 国土地理院 25,000分の1地形図「河原田」（平成9年11月1日発行）
空中写真 整理番号：MCB-63-05X／コース番号：C6／写真番号：7番～9番



至両津

畑野



150

250

350

350

400

350

56

420

350

37 55

138°22'30"
37°55'10"6
138°22'18"6

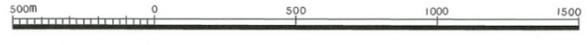
羽茂本郷

至赤泊

昭和42年測量
 平成8年修正測量
 1. 使用した空中写真は平成6年8月撮影
 2. 現地調査は平成8年11月実施



1:25,000 河原田



著作権所有兼発行者 国土地理院 許可なく複製を禁ずる
 平成9年11月1日発行(3色刷) 3刷

茶色の経緯度数値は世界測地系(平成14年4月1日から適用)による